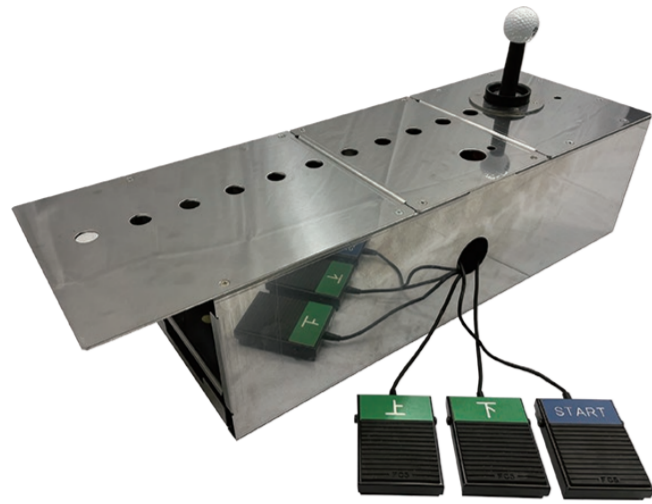


△ CADの半自動型 ”ティーアップ機”

— 日本シー・エー・ディー(株)のスーパーショットシリーズ —

◆ 床置き式 SS-900P (Ver. II) (シミュレーション用)

ティーアップ機	: 高さ 185 mm
ボール検知	: フォトセンサー
ティー高さ調節	: 無段階 0 ~ 70 mm ※ 打席マット厚を除く
ボール入口	: 設置床から 53 mm
ボール出口	: φ50
電源	: AC100V 定格30W



特徴 (Ver. II)

- ① 床置き式の高さ(深さ)が“**185mm**”の装置になります。
- ② ボール検知は光学式なので、耐久性があります。
- ③ 全自動/半自動のティーアップ機で実績のある信頼性が高い部品、無理のない簡単な構造となっており、故障はほとんどありません。
- ④ ボールは、傾斜付きの側溝で集球する方法や弊社の集配給装置(※1)で供給する形になります。
- ⑤ 他社韓国製のインドア用半自動ティーアップ機からの置き換えが容易です。

※1 床置き式 波形横コンベア

◆ 床置き式 SS-900P (Ver. III) (シミュレーション用)

ティーアップ機	: 高さ 125 mm
ボール検知	: フォトセンサー
ティー高さ調節	: 1mm刻み 0 ~ 85 mm ※ 打席マット厚を除く
ボール入口	: 設置床から 38 mm
ボール出口	: 長穴 (横100mm、縦45mm)
電源	: AC100V 定格30W



特徴 (Ver. III)

- ① 床置き式の高さ(深さ)が“**125mm**”の装置になります。
- ② ボール検知は光学式なので、耐久性があります。
- ③ 全自動/半自動のティーアップ機で実績のある信頼性が高い部品を使用しており、故障はほとんどありません。
- ④ ボールを搬送する構造・仕組みは、全自動ティーアップ機で培った実績のノウハウを取り入れています。
- ⑤ ボールは、傾斜付きの側溝で集球する方法や弊社の集配給装置(※1)で供給する形になります。
- ⑥ 他社韓国製のインドア用半自動ティーアップ機からの置き換えが容易です。

※1 床置き式 波形横コンベア

◆ 床置き式 波形横コンベア (シミュレーション用)

横コンベア	: 長さ 約3000 mm (設計自由度あり)
	: 高さ 約60 mm以上 (設計自由度あり)
制御	: SS-900P(Ver. II、Ver. III)と連動
電源	: AC100V(ティーアップ機本体から供給)

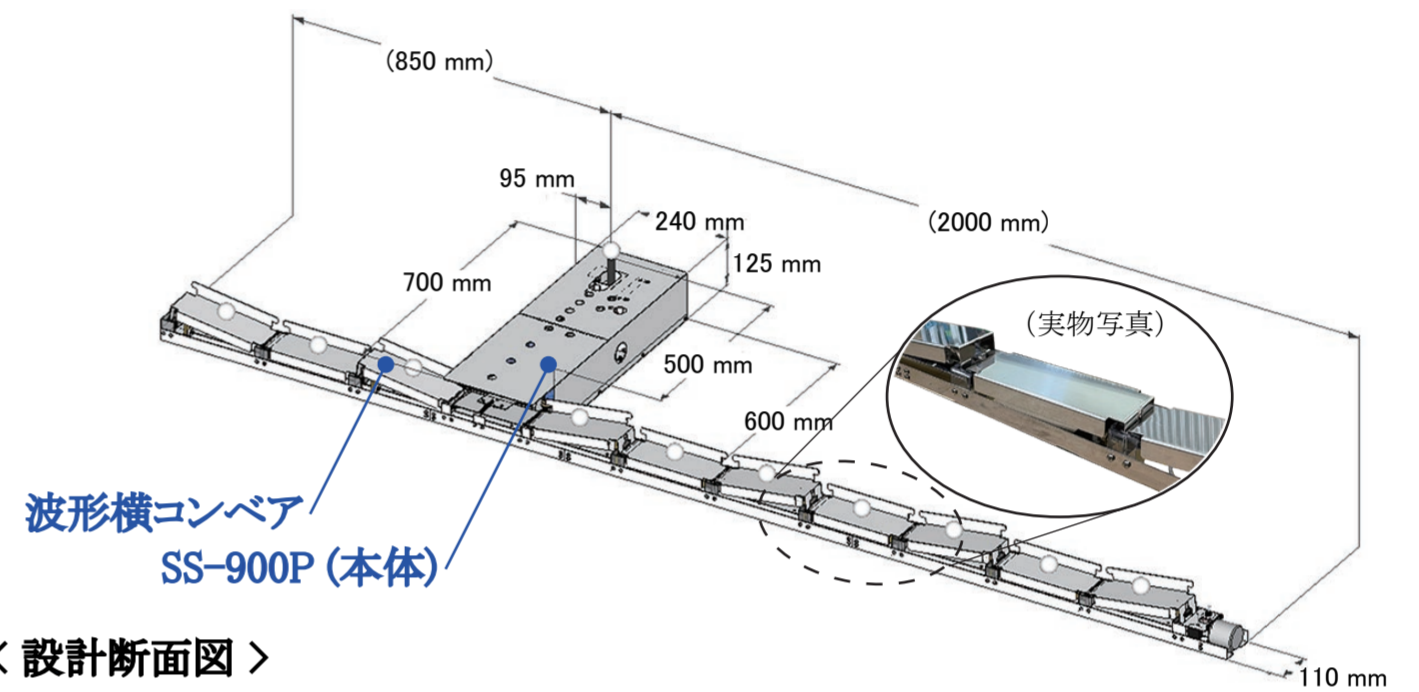
特徴

- ① ボール搬送する構造・仕組みは、全自動の平型ボールタンクで培ったノウハウと実績のある信頼性が高い部品を使用しています。
- ② SS-900Pとの連動により、ティーアップ機入口でボール配給をスムーズにボール詰まりなく行えるようになります。

◆ 参考:打席レイアウト

寸法は参考数値になります。
既存の打席レイアウトに合わせて、設計変更ができます。

〈斜視図〉 ※参考 Ver.3 高さ125mm



〈設計断面図〉

